

編集後記

安部先生の後を受けて編集委員長を担当させていただきました。まずは例年よりも学会誌の完成が大幅に遅れてしまったことをお詫び申し上げます。

皆様のご協力により 13 巻 1 号を完成させることができました。内容としては、プロジェクトベース設計演習が経済産業省の“社会人基礎力を育成する授業 30 選”に選出された報告、ET ロボコンで全国大会に進出した報告等、情報科学部の活動が対外的にどういう位置づけなのかよく分かる内容になっていますので、ぜひご一読下さい。

また、編集期間中に宮崎明雄学部長が急逝され、追悼文を追加しました。個人的にも情報科学部設置以前から親しくさせて頂いていたので、本当に残念でなりません。心から哀悼の意を表します。

これで 2 年間の編集委員の任期を終了します。原稿を執筆いただいた皆様、編集作業にご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。(澤田)

今回の編集は、主に澤田先生が担当してくださいました。来年は、自分の番だと思っています。本巻の編集作業中に、宮崎先生が急逝されました。あまりのことに、まだ実感が湧きません。宮崎先生、これまで本当にありがとうございました。安らかにお眠りください。(下川)

情報科学会誌の編集委員は、4 巻(2005 年)、5 巻(2006 年)を担当しましたが、8年ぶりの今年に担当が回ってきました。本巻の編集作業は、澤田先生に主にやって頂いて、楽をさせてもらいました。8年前は編集作業をひたすらやったのですが、その記憶も薄れてきて、一昔前のことと感じつつあります。情報科学会発足当時から、大きな貢献をされました宮崎明雄教授が、本巻の編集期間中に突然、亡くなりました。突然のお別れで残念でなりません。情報

科学会誌も本巻で 13 巻となりました。宮崎教授の貢献を引き継いで今後も活動を続け、歴史が感じられるようになればよいと思います。(石田)

昨年に引き、続き学部活動報告など、皆様の業績データの収集・とりまとめを担当させていただきました。例年よりも学会誌の完成が大幅に遅れてしまい、編集委員の1人としてお詫び申し上げます。今回、追悼文右上の欄の宮崎先生のお写真(画像)を選定させていただきました。(米元)